

file 01

あかししょうこ 明石祥子さん

社会活動

フェアトレードシティくまもと
推進委員会代表

PROFILE

1957年熊本生まれ。アジア第1号、世界で1000番目のフェアトレードシティ熊本を実現させた立役者。

取材担当
熊本大学4年
小笠原遥

「フェアトレードは世界を変えられる！」
公正な取引を通し自立を支援

一活動を始めたきっかけは？

明石 私が20歳のときに参加したボランティアツアーで、フィリピンのバギオにある小学校に文具を届けた経験が原点だと思います。その時、私たちが子どもたちに鉛筆やノートを手渡したら、体格の良い男の子が全部独り占めにして逃げ、大げんかになってしまいました。そこにいた先生は怒鳴り始め…と、大騒ぎになってしまい、こんなつもりではるばる

来たのではないのにと、疑問だけが残りました。しかしその後フェアトレードに出会い、私たちが良かれと思ってあれこれしてあげるよりも、フェアな取引を通して現地の人たちが自立することが大事なのだと分かりました。

一フェアトレード商品を初めて手にしたときの感想は？

明石 世界中のお母さんたちと、手をつないでいるような気持ちになりました。フェアトレードの品物には、途上国の女性たちが手作りのものがたくさんあります。それを日本で販売している私も、3人の男の子の母親。お母さんたちが愛するわが子を育てるために作ったのかなと思うと、心が温かくなりました。

一世界各地を飛び回る明石さんを、息子さんたちはどのように思われていましたか。

明石 子どもたちから、「寂しい」とか「食事が遅い」とか、そんな言葉を聞いたことは一度もありません(笑)。言えることは、私自身は、仕事にも子育てにも悔いはないということ。傍らで私を見ていた息子らも、それは感じ取ってくれたのではないかなと思いますね。

どこでも、今からでも、楽しく参加できる身近なもの。人と人をつなぐという点での魅力も大きいですね。「フェアトレードは、世界を変えられる！」と、私は信じています。

一熱心に活動を続けてこられた理由は？

明石 フェアトレードにとっても可能性を感じるからだだと思います。誰でも、

壁にぶつかって悩むこともあるでしょう。だけど答えは、いつも目の前にあるものです。



フェアトレードシティくまもと
推進委員会
熊本市中央区新屋敷1-9-7
(フェアトレード ラブランド)
TEL: 096-362-4130
URL: <http://www.fairtrade-kumamoto.com/>

輝きの軌跡

明石祥子さんの
キャリアストーリー

2014年	2011年	2009年	2003年	2001年	1993年
第8回フェアトレードタウン国際会議の開催を熊本で実現	アジア初、世界で1000番目のフェアトレードシティ、熊本が誕生！	フェアトレードシティくまもと推進委員会を発足	フェアトレードブランド「ビーブル・ツリー」のサファイア・ミニー代表を熊本に招き、講演会を行う	フェアトレードショップ「ラブランド」を開設	きょうだい4人で、フェアトレードプロジェクトを立ち上げ、フェアトレードシティを推進